

ご寄附の種類

九州工業大学基金へのご寄附は、以下よりご選択いただけます。

1 九州工業大学を 応援する

九州工業大学の発展のため、全学的な環境整備、教育研究活動支援および社会貢献のために活用させていただきます。また、学部学科やキャンパスなど、ご支援先を指定してご寄附いただくことも可能です。



<https://fund.kyutech.ac.jp/types/university>

2 学生を 応援する

修学支援、課外活動支援、国際交流支援など学生を多方面からサポートする事業にご寄附いただけます。また、課外活動団体等、ご支援先を指定してご寄附いただくことも可能です。



<https://fund.kyutech.ac.jp/types/student>

3 研究を 応援する

学生または不安定な雇用状態にある若手研究者（いわゆるポスドク等）が安心して研究活動に専念できるよう、人材育成やキャリアパスを支援するための事業にご寄附いただけます。



<https://fund.kyutech.ac.jp/types/research>

遺贈寄附のご案内

近年、少子高齢化や家族形成の変化などにより従来とは違った形で財産相続を考える方が増えていることから、遺贈寄附への関心も高まり、日本の教育研究を支える大学へご資産を寄附される方が増えています。九州工業大学では、これまで築いてこられた大切な財産の一部を社会のために役立てたいという皆様の想いを「遺言によるご寄附（遺贈）」として受け継ぎ、本学の教育研究等に大切に活用させていただきます。また、ご遺族からの相続財産によるご寄附も承っております。

九州工業大学基金事務局では、定期的に遺贈・相続セミナーを開催する予定です。詳細は、九州工業大学基金のホームページでご案内いたしますので、ご関心のある方はぜひご覧ください。また、遺贈のご相談は随時承っておりますので、九州工業大学基金事務局までお問合せください。



<https://fund.kyutech.ac.jp/#bequest>

会員制度

2018年度に創設された「九州工業大学基金サポート法人会員」及び「九州工業大学基金サポート会員」制度は、多くの寄附者様にご賛同いただき、ご支援をいただいておりますが、更なる充実を図るため、このたび「九工大会員」として新たな会員制度に生まれ変わりました。皆様とのパートナーシップ・継続的なご支援は、学生の大きな支えとなり、未来の「技術に堪能なる土君子」を育むことに繋がります。

引き続き、皆様方のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

【法人会員】https://fund.kyutech.ac.jp/benefits/corporation_support 【個人会員】https://fund.kyutech.ac.jp/benefits/private_support

法人
会員



個人
会員



九州工業大学基金
ホームページ

<https://fund.kyutech.ac.jp/>

九州工業大学基金



九州工業大学基金事務局

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町 1-1

E-mail kikin@jimu.kyutech.ac.jp

TEL 093-884-3004



国立大学法人

九州工業大学

九州工業大学基金 活動報告書 2024

KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY
2024 FUND REPORT



ご挨拶



九州工業大学基金を通じて 多大なるご支援を賜り、 心より感謝申し上げます。

九州工業大学は、技術に精通し品格と創造性を兼ね備えた高度技術者を養成する大学として、優れた教育と研究を礎に、これまで延べ7万人を超える卒業生が日本はもとより世界を舞台に活躍し、多くの方に支えられて110余年の歴史を培ってまいりました。

大学の使命は、複雑化し続ける世界に向かい、「専門領域」「大学」「国」「ジェンダー」あらゆる垣根を越えて知を接続し、組み合わせ、さらには世界を見据え、未来を考えることができる多様な人材を育成していくことだと考えています。

本学では、「多様な人と未来の技術が会おうキャンパス」を目指し、自由で開かれた環境の下で様々な知性と個性を持つ人々が交流できる空間や学修の場の構築と整備を進めています。学生時代から様々な文化的背景を持つ方々と交流して多様な考え方を認め合い、知恵を出し合って社会的価値を生み出すような課題解決に取り組む主体的な学びを大切にしています。

このような中、令和7年1月に本学は国内25の研究大学群であるJ-PEAKS（地域中核・特色ある研究大学強化促進事業）の1つとして採択され、革新的な技術の社会実装を実現するイノベーション創出大学モデルの構築に向けて体制整備を開始しました。またこの事業に先行して、大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業に

採択され、グローバルな価値創出に向けた高度な社会課題解決人材を育成する環境が整備されつつあります。まさに、研究力と教育力を両輪で強化して本学の知の総和を高め、ビジョンを実現するための環境が整ったといえます。

これからも皆様の期待と社会からの要請に応えるべく、建学の精神「技術に堪能なる士君子」すなわち「技術に精通した知性と教養が溢れるエンジニアの養成」という理念の下、変化に柔軟に対応できる未来の若き高度技術者を教職員一丸となって育成し、教育研究により一層取り組むとともに、地域社会及び産業の発展に寄与してまいります。

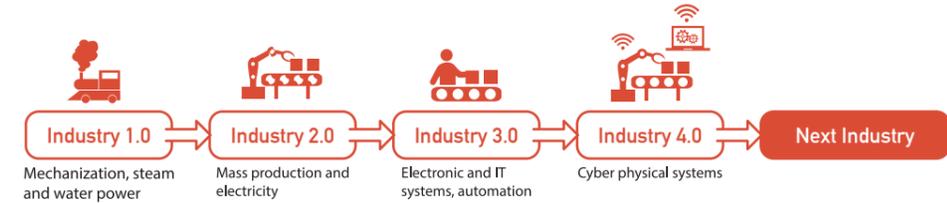
一方で、大学を取り巻く現状は更に厳しさを増しており、これらの取組を推進するためには、皆様からのご支援は欠かせないものです。日々、経営努力を怠らず、今後も質の高い教育、卓越した研究活動に取り組んでまいりますので、是非、「九州工業大学基金」にご理解、ご賛同いただき、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国立大学法人九州工業大学 学長

三谷 康範

九工大ビジョン2040

“未来を思考する「モノづくり」と「ひとづくり」を推し進め、最先端の技術と人材で世界にインパクトを与えるイノベーション創出大学となる。



建学の理念「技術に堪能なる士君子」の養成

九州工業大学ビジョン2040
Impact the Next Industry

Education Research Impact

ビジョン達成に向けた17のアクション
17 Action

ビジョン達成に向けたアクション | 研究

- 社会変革につながる、世界から注目される研究の推進
- 多様な組織体組織の連携による研究の加速化・大型化
- 研究者の研究開発・社会実装を支援する環境・制度の整備
- 革新的研究や社会実装を支える支援人材の集積

ビジョン達成に向けたアクション | 社会貢献・社会実装

- 研究シーズの社会実装の推進による新産業創出・地域活性化
- 地域中核大学として自治体との積極的な連携による社会貢献推進
- 他大学・研究機関との補完的連携による研究・教育環境の充実
- 大学の施設・設備やスペースなどの学内資源の有効活用

ビジョン達成に向けたアクション | 教育

- 課題意識を持ち学び続ける姿勢を持つイノベーション人材の育成
- 国際感覚を持ち順応性に富んだ人材の育成(GCE教育の推進)
- 海外・産業界、地域社会に対して開かれた学びの提供
- 数理・データサイエンス・AIなど高度な教育へ対応できる実践型教育環境の提供

ビジョン達成に向けたアクション | 経営・組織

- 教職員が安心と誇りを持って働くことができる環境・制度の整備
- DX・業務標準化を核としたスマートキャンパスの実現
- 客観的データに基づく納得性のある大学経営
- 多元的な収入の確保による安定的な財務基盤の構築
- 情報発信力の強化による信頼関係の深化

学生プロジェクト

学生プロジェクトは学生グループによる自主的な課外活動として、技術系競技大会や工学基礎力を活かしたボランティアをはじめとした学内や地域社会に貢献できる企画を自ら提案・実施する取組みを支援する事業です。

本学では、このプロジェクトを推進し、課題探求とその解決能力を滋養し、工学基礎力と共にコミュニケーション能力など幅広い教養を身につけ、企業や社会において先導的リーダーシップを発揮できる創造的人材を育成してまいります。

学生プロジェクト

KIT-Formula



2025年度車両の開発に活用させていただきました！

この度は、KIT-FORMULAへ多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございました。2025年プロジェクトでは、「九州を代表する学生フォーミュラチーム」として、学生フォーミュラ大会での総合7位入賞を目標に掲げ、車両開発に取り組んでまいりました。

大幅にアップグレードされた新車両には、新開発のシャシーと独自の電子制御システムを多数導入し、確かな速さを実現しています。

現時点でのテスト走行では、すでに昨年度車両のタイムを大きく更新しており、本車両の高いポテンシャルを強く実感しております。

こうした挑戦ができているのも、日頃より応援・ご支援くださる皆様のおかげです。

大会まで残りわずかとなりましたが、最後まで一切の妥協なく、チーム一丸となって車両開発に全力を尽くしてまいります。



KIT-Formulaのサイトをcheck!



プロジェクト応援の声

株式会社キャリア・ナビゲーション様

昨年度の9位という成果を基に、更なる上位を目指して日々努力している皆さまに敬意を表します。フォーミュラカーの開発に取り組む姿勢は素晴らしく、夢を持ってこんなに真剣に取り組める皆さんは本当に素晴らしいです。この経験は必ず将来のキャリアにおいて大きな力となるでしょう。今後の大会での更なる活躍を心より応援しています。

広報事業へのご支援

「ネジチョコロケット&超小型人工衛星型チョコレートセット」のパッケージデザイン制作に活用させていただきました！

北九州土産として話題の「ネジチョコ」を製造・販売しているオーエーセンター株式会社様と共同で、「ネジチョコロケット&超小型人工衛星型チョコレートセット」を開発しました。本学大学院工学府 博士前期課程工学専攻宇宙システムコース2年の畠山雄樹さんの「北九州土産で魅力的なネジチョコとコラボすることで、九工大の知名度を上げたい」という強い想いにより、学生主体でプロジェクトを進め、オーエーセンター株式会社様とのコラボレーションの実現に繋がりました。「ネジチョコロケット&超小型人工衛星型チョコレートセット」には、組み立て可能なロケット型チョコレートと超小型人工衛星型チョコレートが含まれています。

なお、「ネジチョコロケット&超小型人工衛星型チョコレートセット」を制作するにあたり、パッケージデザインは、寄附金を活用させていただいております。

九州工業大学の知名度向上と地域貢献を目的として実現した本プロジェクトにつきまして、ご寄附によりコラボ商品の開発が実現いたしましたこと、深く感謝申し上げます。

発起人

畠山さんからのコメント

九工大は超小型人工衛星打ち上げ数7年連続世界1位という実績もあるからこそ、北九州のお土産である魅力的なネジチョコとコラボすることで、少しでも九工大の知名度が上がって欲しいと思っています。また、



それと同時に北九州市=宇宙の街というイメージが全国的世界的に広がっていききっかけになればいいなと思っています。

宇宙デザイナーの

山下コウセイさんのコメント

「何かを組み立てるワクワク感」は、大人も子供も、世代を超えて共感できる普遍的なものではないでしょうか。最先端に挑む技術者たちも、その道を志すきっかけは、おもちゃやプラモデルを組み立てた記憶にあるかもしれません。人工衛星を開発する九州工業大学の学生たちの熱意と志をお土産にする方法を考えたとき、「組み立てるワクワクの原体験」を再現するプラモデル風のパッケージしかないと思いました。かつての子供も、今の子供も、楽しくおいしいネジチョコロケットを組み立てながら、宇宙開発への夢を膨らませていただけたらと思います。



ネジチョコロケット&超小型人工衛星チョコレートセット

【販売店】

- ・NEJI CHOCO LABORATORY オンラインショップ
- ・スペースLABO
- ・GRAN DA ZUR
- ・GRAN DA ZUR retro



NEJI CHOCO LABORATORY
オンラインショップ



ネジチョコロケットの
組み立て方法



北九州から
宇宙へ挑む
九工大の衛星開発

クラウドファンディング

本学では教育・研究の更なる活性化のため、READYFOR株式会社様と業務提携し、インターネットを通じ、一般の支援者の皆さまから寄附金を募るクラウドファンディングを実施しております。皆さまからの力強いご支援をいただき、2024年度は2件のプロジェクトが成立いたしました。温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。

プロジェクト1

九工大サッカー部の歴史を繋ぎ、3年連続の九州2部リーグ残留へ!

実施期間: 2024年6月7日(金)~7月31日(水)
 目標金額: 140万円(ネクストゴール190万円)
 寄附総額: 191.3万円(137%)
 寄附者数: 152名



プロジェクト詳細はこちらから



工学部マテリアル工学科
マテリアル工学コース4年生
犬丸 祥太郎さん

遠征費に活用させていただきました!

サッカー部は九州リーグを戦っており、沖縄や鹿児島など、遠方での公式戦が行われるため、莫大な遠征費が必要になります。遠征費が出費の大部分を占めるサッカー部は、毎年厳しい経済状況に陥り、学業や週5の部活動の合間では、生活費や学費に加えて多額の遠征費を稼ぐことは難しく、部活動を行うために部活動を休んでアルバイトをしなければならない部員も存在します。

2024年度にはクラウドファンディングも行い、莫大な遠征費という壁を乗り越えて、シーズンを戦い抜くことができました。ご支援がなければ、遠征に参加できる部員が減少し、積み重ねた努力の成果を十分に発揮することができないだけでなく、人数が足りずに公式戦を棄権するという事態に陥っていました。学生だけの力では解決することができない問題ですが、たくさんの方々のご協力により、忙しい学業と並行して部活動も全力で頑張るという目標に奮励するための環境を整えていただきました。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

応援の声



吉武 哲司様 (昭和63年3月卒 工学部工業化学科)

九工大サッカー部現役のクラウドファンディング立ち上げの際にOBを代表して応援メッセージを投稿させていただきましたS63卒吉武と申します。目標金額を達成できた事は、ひとえに現役諸君の熱意を応援いただきました皆様のおかげであり、あらためて深く感謝申し上げます。九州大学サッカーリーグ2部残留という結果を残す事はできませんでしたが、現役諸君の今後の更なる切磋琢磨を期待しております。私達サッカー部は繋がりを大切に、九州工業大学の発展を心より応援しておりますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



九州工業大学
クラウドファンディング
特設サイト▶



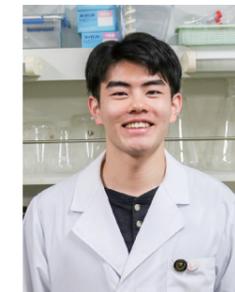
プロジェクト2

九工大に学生主体の研究ブームを巻き起こしたい!

実施期間: 2024年6月19日(水)~7月31日(水)
 目標金額: 60万円
 寄附総額: 61.1万円(102%)
 寄附者数: 47名



プロジェクト詳細はこちらから



大学院生命体工学研究科
博士前期生体機能応用工学修士
入口 俊介さん

研究室の壁を超えた研究と交流会を実施しました!

本プロジェクトを応援いただいた皆様、この度は温かいご支援を誠にありがとうございました。

「九工大の研究をもっと盛り上げたい!」という思いから、『学生主体の研究ブーム』を起こすことを目指して本プロジェクトを立ち上げました。皆様からのご寄附により、学部や研究室の枠を超えた分野横断的な研究に挑戦することができ、研究交流会も無事に開催することができました。普段はなかなか交流する機会の少ない分野の学生たちが集い、新たなアイデアや刺激を得る貴重な機会となりました。

皆様のおかげで、高い壁を一つ乗り越えることができました。これからは、この経験を次の世代にも引き継ぎ、更なる研究の活性化につなげていきたいと考えています。改めまして、この貴重な経験を支えていただいた皆様に心より感謝申し上げます。

応援の声

山下 留美子様

私自身は研究経験者ではありませんが、体調を崩したことをきっかけに腸内細菌や口腔環境への関心が高まり、調べる中で前田研究室の皆様の取り組みを知りました。偶然クラウドファンディング開催中で、プロジェクトを支援できたのも不思議なご縁。活気溢れる挑戦に強く惹かれ、ぜひ寄付をしたいという気持ちで応援させていただきました。産学交流サロンでの研究発表、ラボ見学ツアーでの培養や機材に触れる体験は感動的で、何より入口さんの熱意に心打られました。この出会いは生涯の宝です。今後のご活躍を応援しております。



KYUTECH GIVING CAMPAIGN2024

2024年10月11日～20日の10日間、本学の課外活動団体（学生プロジェクト・部活動団体）を応援するオンラインチャリティイベントKYUTECH GIVING CAMPAIGN2024を開催しました。

本イベントは、学生団体への応援投票の獲得数等により協賛企業から寄附金を配分するとともに、応援投票と併せてご寄附も受けることで学生団体の支援や寄附文化の醸成を図ることを目的としております。イベント期間中、学生たちも率先してSNSを活用し応援投票の呼びかけを行い、卒業生や保護者様をはじめ、地域の方々など計7,331人の皆さまより応援投票をいただくことができました。また投票の呼びかけを通じて、卒業生に活動状況を報告でき、様々な人々に活動をPRすることで、直接支援いただく機会や新たなご縁も繋がり、学生たちにとって大変貴重な機会となったようです。

ご参加いただきました皆様には心より御礼申し上げます。2025年も10月10日～19日に同イベントを開催いたします。皆様からの温かいメッセージが学生達の励みとなりますので、力強い応援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

KYUTECH GIVING CAMPAIGN2024 特設サイト



1位 アイスホッケー部 ▲獲得票数 1,063票	2位 学生プロジェクト ▲獲得票数 886票
3位 アメリカンフットボール部 ▲獲得票数 772票	4位 九州工業大学・西宮女子大学卒業生 ▲獲得票数 478票
5位 吹奏部 ▲獲得票数 469票	6位 サッカー部 ▲獲得票数 460票

イベント詳細は
こちらから



◀獲得投票数のランキング

1 アイスホッケー部

🏆 ランキング1位 (1,063票)



練習試合の実施費用に活用させていただきました！

このたびはGiving Campaign 2024を通じて、多くのご支援・応援コメントをいただき誠にありがとうございました。皆様のおかげで学内投票数第1位を獲得し、週1回の氷上練習に加えて練習試合や紅白戦を実施することができました。また、アイスホッケー部の活動を広く知っていただけたことも大変嬉しく思います。今後も精進してまいりますので、引き続きのご支援・ご声援をよろしくお願いいたします！

2 学生プロジェクト Karman+

🏆 ランキング2位 (886票)



学会発表の旅費として使用しました！

この度は多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。第68回宇宙科学技術連合講演会ジュニアセッションにて、「高度120km級ハイブリッドロケットに向けた検証用ロケットの設計」および「単段式・多段式比較検討」に関する内容を発表しました。ご支援金は旅費等に充てさせていただき、現地では有識者から今後の研究に資する貴重なご意見を多数いただくことができました。心より感謝申し上げます。

3 アメリカンフットボール部

🏆 ランキング3位 (772票)



新入部員のヘルメット購入費用に活用させていただきました！

この度は、たくさんのご支援本当にありがとうございました。いただきましたご支援は、一年生のヘルメット購入に使用させていただきました。今シーズンは、創部以来三度目の1部挑戦になります。目標の「1部残留」を目指して頑張りますので、引き続き応援よろしくお願いいたします。

KYUTECH GIVING CAMPAIGN へのご協賛を募集しています！

特典

- ①企業名を付した冠賞を設置することが可能です。
- ②ご協賛いただいた企業様のロゴマークをGiving Campaign特設サイトに掲載してご紹介させていただきます。
- ③学生との交流パーティーにご招待します。

ご協賛はこちらから▶



ご寄附いただいた皆さまのご紹介

2024年度にご寄附いただいた皆さまのご芳名を掲載させていただき、心より感謝の意を表します。
お名前の掲載をご希望されない方は、匿名とさせていただきます。

ご寄附をいただいた個人の皆様

相阪 泰之 様	奥西 美香 様	嶋田 直樹 様	中岡 廣治 様	馬 廷麗 様
有吉 範敏 様	尾仲 武基 様	白川 晋吾 様	中川 峯雄 様	松浦 毅 様
石井 弘明 様	温 暁青 様	新宅 秀信 様	中嶋 義明 様	松岡 直哉 様
市来 知幸 様	嘉数 直樹 様	瀬川 赳夫 様	永松 正博 様	松永 守央 様
伊藤 哲 様	神谷 昂幸 様	芹川 聖一 様	永松 靖子 様	松元 康洋 様
稲嶺 隆敏 様	唐津 里美 様	高瀬 康 様	中村 亘 様	宮崎 英樹 様
井上 淳司 様	川上 幸雄 様	高根 直暉 様	西尾 一政 様	村上 清人 様
浮田 大樹 様	河村 慶弘 様	武内 紀陽 様	西並 眞吾 様	村岸 亮 様
梅田 正幸 様	菊池 孝明 様	武川 力 様	西野 一英 様	村田 敦子 様
恵良 信 様	熊崎 栄作 様	辰巳 博之 様	野村 育洋 様	安川 みさ 様
遠藤 英敏 様	倉垣 悠輝 様	田中 一浩 様	橋倉 貴子 様	山口 富子 様
大城 陽子 様	蔵本 正彦 様	田中 孝夫 様	長谷部浩一 様	山口 百合 様
大鶴 英嗣 様	栗田 真紀 様	田村 敦子 様	平方 洋二 様	行元 恒平 様
大濱 司志 様	河本 拓哉 様	田村千恵子 様	深尾 志郎 様	遊佐 幸彦 様
岡田 信也 様	後藤 厚 様	塚本 忠之 様	福岡 健悟 様	吉田 宏彦 様
岡村 竜二 様	齋藤 武美 様	鶴田 隆治 様	藤崎 一裕 様	芳野 啓 様
岡本 卓 様	坂口 和代 様	出口 博之 様	許 宗焄 様	
小川 健夫 様	坂本 寛 様	寺井 慶和 様	坊 勇一郎 様	
奥西 耐子 様	柴田 智広 様	内藤 信寿 様	細井 圭子 様	

匿名の方
173名様

ご寄附をいただいた企業・団体の皆様

※会社名の五十音順に
掲載させていただきます。

iCAD 株式会社
アイシン・ソフトウェア株式会社
株式会社 iD
I-PEX 株式会社
合同会社 ABC 研究所
株式会社エム・オー・エム・テクノロジー
株式会社キャリア・ナビゲーション
九州建設コンサルタント株式会社
共同カイテック株式会社
株式会社コマス
株式会社サザンクロスシステムズ
伸和コントロールズ株式会社
住友金属鉱山株式会社

株式会社ソフトウェア・サイエンス
株式会社ソフトクリエイティブホールディングス
株式会社テクノス
Design City Japan 株式会社
株式会社デンケン
株式会社西日本シティ銀行北九州総本部
日本電管株式会社
株式会社ネオジャパン
不二輸送機工業株式会社
株式会社朋栄
一般社団法人明専会
株式会社安川電機
株式会社ラック
匿名の法人・団体 5団体様

ご寄附いただいた皆さまの声



一般社団法人明専会
会長 小笠原 浩 様

～ものづくりは人づくり～ 明専会は学生プロジェクトを応援しています

一般社団法人明専会は九州工業大学とその前身である明治専門学校
の卒業生によって構成される、九州工業大学の後援組織です。
明専会は、2009年の母校創立100周年を機に明専会員からの募金1億
4000万円を原資として、「学生プロジェクト」と「グローバル人材育成」に特
化した支援を行っております。これらの事業を通して、学生が人間性豊か
な、視野の広い、自立したエンジニアに育っていくのを目の当たりにするこ
とができ、卒業生一同、大変嬉しく思っています。これからも同窓の絆を結集
し母校支援に努めてまいります。母校の益々の発展を祈っております。



株式会社
ソフトクリエイ
ティブホール
ディングス 様

「IT/デジタル先進国」としての日本の未来を支える 九工大の皆さんを応援しています

当社は「IT戦略のベストパートナー」であり続けるため、時代のニーズに対
応し変化し続けてきました。皆さんが社会において時代をとらえ、創造的・
革新的な取り組みで、日本のITの未来を支える先導者として活躍すること
を心から期待しています。学生プロジェクトでのチャレンジ・学びは、そんな
皆さんを支援する素晴らしい取り組みだと思えます。皆さんが全力で取り
組んだその先に、明るい未来が広がることを期待して、応援しています。

ご寄附いただいた皆さまの声



永松 正博 様
昭和47年3月卒
工学部電子工学科

夢を追いかける学生たちを応援しています

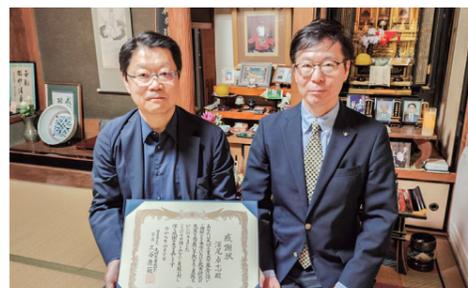
明専以来の「学生の生涯に渡る活躍のための教育」に
感謝しています。私は同窓会「明専会」の役員をしてい
ましたが、ものづくりで世界一になったり、大学行事であ
るイベントの運営に情熱を注いだりする、多くの学生の活
躍にいつも感動していました。ささやかですが、彼らの夢
の実現と、より豊かな学生生活の一助となれば幸いです。
大学基金の支援の輪が未来へと広がり、母校の同窓の絆
がますます深くなることを、心から願っています。



遺贈によるご寄附を賜りました

深尾 卓志 様 (卒業生のご遺族様)

叔父の深尾 志郎 (昭和46年3月工学部電子工学科卒) が亡くなり、三年余が経過しました。生前母校に対し財産の一部を寄附したい意思を持っていましたが、遺贈の形態を希望した為、その遺志に沿い特別基金である「研究等支援事業基金」への寄附を故人に代わりさせて頂きました。故人の深い思い入れをご理解頂き、研究分野で有意義にご活用頂ければ遺族として幸甚でございます。改めて貴学校の活動内容を拝見するに、持続可能な社会の実現を目指し、航空宇宙・IoTロボティクス・AI等の分野で数々の成果を上げておられ、北九州を中心に産学官連携し優れた研究成果を創出され、また世界を先導する高度の技術者輩出に貢献されている事を理解しました。貴学応援団の一員です。一世紀以上の歴史あるキャンパスで、質の高い研究活動が続けられる仕組みの醸成と、今後益々のイノベーション創出・人材育成に取り組んでいかれる事を切に望み応援していきます。



留学生交流事業へのご支援を賜りました



国際友好の夕べでのパフォーマンス



キャンパスツアーで茶道部のお点前をいただく留学生

本学では、在籍している外国人留学生に、キャンパスを越えた交流や日本人学生も含めた多文化交流の機会をつくることを目的として、皆様からいただいたご寄附により様々なイベントを支援しています。

2024年度も年間を通じて、留学生会等を中心に各キャンパスで企画したスポーツ交流イベント、各国の料理やお菓子を持ち寄るポットラックパーティー、ウェルカムパーティーや餅つきなど、日本文化体験のみならず多国籍による交流を行うことができました。

12月には毎年の恒例行事である「国際友好の夕べ」を飯塚キャンパスで開催し、3キャンパスの留学生を中心に約170名が一堂に会し、お寿司やおでん、ハラル対応のカレーなどに舌鼓を打ちながら、留学生によるパフォーマンスで大いに盛り上がりました。

さらに、卒業生(故人)の遺志によるご寄附を活用させていただき、新入生向けキャンパスツアーを初めて企画しました。戸畑・飯塚キャンパスで開催される工大祭にあわせて実施し、学内ツアーや簡単な日本語を使ったゲーム、折り紙や福笑いなどの伝統的な遊びで参加者同士の交流を深め、模擬店の食べ物や学科展なども楽しみ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

感謝状の贈呈式を執り行いました

九州工業大学基金は寄附金額に応じた顕彰制度を設けており、個人で100万円以上、法人・団体で1,000万円以上のご寄附をいただいた際には、寄附者の皆様に感謝の意を表するため、感謝状の贈呈を執り行っております。2024年度は5名のご寄附者様へ感謝状を贈呈いたしました。

多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

皆様からの九州工業大学基金へのご寄附につきましては、学生への修学支援や本学の教育研究活動のために有効に活用させていただきます。



寄附者様からのメッセージ

一般社団法人明専会 副会長 新宅 秀信 様 (1984年卒 工学部機械工学科)

九州工業大学に1979年入学から院卒業まで7年間、社会人博士後期2008年から2年間お世話になりました。母校で過ごした日々が、学業だけでなく寮生活、部活動等を通じて、人間形成と人生の礎となりました。還暦を過ぎ、振り返ると母校での思い出も溢れるほどあり、若き日を九州工業大学で過ごせて良かったと思う次第です。特に、私が20歳の時に父が病死し経済的な不安がありながらも、家族や友人及び恩師方々の支えがあり卒業できたことは、母校にも感謝の念に堪えません。ぜひ学生の方々の有意義な学生生活と、九州工業大学の発展を祈念しております。

九州工業大学基金銘板を設置いたしました



九州工業大学基金銘板

この度、九州工業大学基金に累計50万円以上のご寄附をいただいた方々へ、感謝の意を表して、お名前を刻印した銘板を設置いたしました。

九州工業大学基金は、2016年に創設以来、卒業生や保護者の皆様をはじめ、多くの方々に支えられ、本学の教育研究を推進する事業に取り組んでまいりました。皆様方の温かいご支援に、教職員一同、心より感謝申し上げます。

今後もご寄附の累計額に応じて定期的に銘板を更新し、末永く顕彰させていただきます。

九州工業大学基金銘板は、多くのお客様にご来館いただく百周年中村記念館1階(戸畑キャンパス)に設置しておりますので、近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



百周年中村記念館



税制上の優遇措置



詳しくはこちら

個人の皆様

九州工業大学基金へのご寄附は、「所得控除」の適用対象となります。

また、「学生の修学支援」及び「若手研究者支援」への個人の方からのご寄附は「税額控除」も適用対象となるため、確定申告の際に「所得控除」、「税額控除」どちらかをご選択いただけます。

■ 所得控除

寄附金額（総所得金額の40%が上限）から2千円を差し引いた額が課税所得から控除されます。所得税率の高い方に効果が大きい制度です。



■ 税額控除

寄附金額（総所得金額の40%が上限）の一定割合を、税率に関係なく所得税額から直接控除されます。小口のご寄附にも所得控除と比べて減税効果が大きい制度です。

「学生の修学支援」「若手研究者支援」が適用対象です。



■ 住民税の軽減

お住いの都道府県・市区町村の条例で、本学が「寄附金税額控除対象法人等」として指定されている場合は、上記の「所得税控除」に加えて、個人住民税の優遇措置が適用されます。詳細は、お住いの都道府県・市区町村の税窓口へお問合せください。

■ 寄付金控除シミュレーター

基金Webサイトに寄附金額を入力するだけで実際の控除額を確認できますので、ぜひお試しください。（控除額はあくまで目安です）



法人の皆様

九州工業大学基金へご支援いただいた寄附金については、法人税法上の指定寄附金（法人税法第37条第3項第2号）として財務大臣から指定されており、寄附金の全額を一般の寄附金の損金算入限度額と別枠で損金算入することができます。

九州工業大学基金の状況

九州工業大学基金の受入総額

3.6億円

九州工業大学基金の受入総額は、2025年3月に3.6億円に達しました。温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。皆様からのご寄附は、本学の教育・研究を発展させるため様々な事業へ大切に活用させていただいております。当基金の2025年3月末までの収支状況について、以下のとおりご報告申し上げます。

当基金ではさらに事業を充実させてまいりますので、今後とも皆様の力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

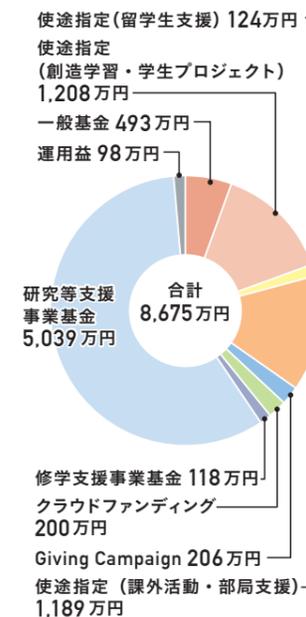
■ 九州工業大学基金項目別受入実績

種別	項目	件数	寄附額(円)
一般基金	一般基金	131	4,926,000
	使途指定(創造学習・学生プロジェクト)	8	12,080,000
	使途指定(留学生支援)	47	1,244,000
	使途指定(課外活動・部局指定)	13	11,888,000
	Giving Campaign	143	2,064,499
特定基金	クラウドファンディング	199	2,001,269
	修学支援事業基金	61	1,182,000
	研究等支援事業基金	22	50,385,000
	運用益		983,300
	合計	624	86,754,068

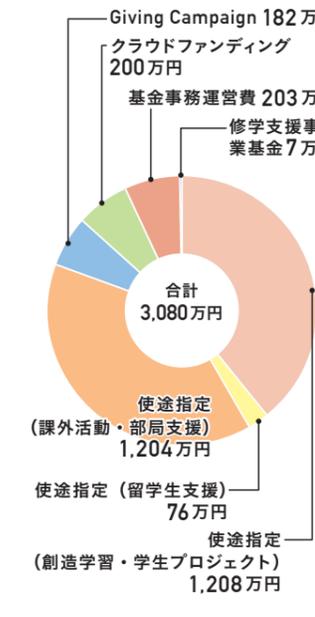
種別	件数	寄附額(円)
一般基金	541	34,203,768
特定基金	83	51,567,000
合計	624	85,770,768



2024年度九州工業大学基金収入



2024年度九州工業大学基金支出



2024年度本学との関係別寄附額

